

東和地域支援室通信

令和5年3月号

東和総合支所地域振興課地域支援室：東和町土沢8区60 電話 41-6514(直通)

第3回東和サロン 「東和と喜多方の伝統工芸コラボ体験 成島和紙に会津型を使って模様を入れてみよう」を開催しました

3月6日(月)成島振興センターにて、地域おこし協力隊の赤津有美さんを講師にお招きし、①好きな絵柄を選び型紙をカッターで切り出す(=彫る)、②切り出した型紙を使って成島和紙に模様を染める(=刷る)という2つの工程による会津型染めを体験しました。参加者からは「難しかったが楽しかった」「また参加したい」との感想が上がりました。



地域おこし協力隊 赤津有美さん 真剣勝負！会津型彫り作業

個々のアレンジが光った染め作業 素晴らしい作品ができあがりしました

空き家のご相談随時受付中！ 東和作戦会議の「移住・定住ミニ情報」

「東和作戦会議」とは？
東和地域の振興を目的として設立。花巻市移住・定住業務を受託し、東和地域の空き家バンクや移住に関する相談業務などを行う一般社団法人。

令和4年度の空き家相談件数等報告

3月は、転勤や新しい仕事に就くため等、家探しをする皆さんが増えてきます。
今年度は2月末までに72名の方が相談にみえられ、延べ232件の相談がよせられました。そのうち、空き家バンク利用で6世帯、空き家バンク以外では3世帯の方が東和町に住み始めることとなりました。また、売却になった空き家が9軒となりました。
「東和おもしろ作戦研究所」(旧若専商店)では、花巻市空き家バンクの紹介のほかに、岩手県移住コーディネーターの資格を持つ移住定住相談員が、東和町内の貸家・空き家についての相談も行っております。また、お持ちの空き家についての相談もお受けしております。どうぞご利用ください。

【移住定住相談・空き家バンクの問合せ及び空き家のご相談等はこちらまで】

☞花巻市全体・・・花巻市役所定住推進課定住推進係 TEL:41-3516

☞東和地域・・・一般社団法人 東和作戦会議

TEL:29-6500 FAX:29-6501 Eメール:omoshiro@leaf.ocn.ne.jp

受付場所:東和町土沢5区372番地(東和おもしろ作戦研究所内)

受付時間:月～金 9:00～12:00 担当:菅野 大石

そのほかの時間帯は留守番電話にお名前と連絡先を入れていただければ、折り返しご連絡を差し上げます。

<お知らせ>
令和5年度からは
3か月に1回の
掲載となります◎

～令和5年度 東和地域支援室通信に関するお知らせ～

令和5年度より東和地域支援室通信を右のとおり変更します。
次回の発行は4月1日号となります。
これからも東和地域の皆さんのお役に立つ情報を発信していきたいと思ひます。

<令和4年度>
世帯回覧
毎月15日号



<令和5年度>
全戸配布
毎月1日号
月行事予定表(新)



元地域おこし協力隊の岡田芳美さんによる連載企画。『イージュはなまき』はUターンの芳美さんとIターンの旦那さんが発起人となり立ち上げた移住者のためのプロジェクトです。『イージュ』は“移住”と“いい住まい”の意味。さらに奥田民生さんの「イージュ★ライダー」へのオマージュを込めているそうです。

イージュはなまきの岡田です。毎月の連載は3月で一旦終了となりますが、またぜひお会いしましょう。今回は、東和町上浮田に移住して9年ほどとなる、里山耕暮の佐々木さんにお話をお聞きしました。

☆.☆.☆.☆.☆.☆★インタビュー 第9弾 佐々木 哲哉さん ★☆.☆.☆.☆.☆.☆.

▼これまで...

神奈川県出身。オートバイ旅行や山登りが好きで、自然と、農的・自給的な暮らしを目指すようになりました。福島での農業研修や沖縄など全国各地を巡り巡って岩手県へ。奥州市→花巻市（花巻地域）と仮住まいののち、空き家になっていた今の家に出合ったのが9年ほど前になります。

▼岩手・東和の印象は...

やはり自然の美しさや四季の変化には感動しますね。また都会から程よく距離があることも影響してか伝統芸能や文化が多く残っていると感じます。今の場所はまさに中山間地（谷地田）。谷間で周りの森からしみ出る水が豊富で、ため池や棚田、小川があり、とても気に入っています。

▼現在&これから...

様々な農業関連の仕事を経験した後、自分のやりたい農業や暮らしを模索しはじめ、今に至っています。自家用の田んぼの端でレンコンをはじめたり、薪を確保するために覚えた山仕事を頼まれることも。

色んな意味で“仕事”と“暮らし”と“趣味”がごちゃ混ぜですが、やりたいことができている今、とても充実しています。

『里山耕暮（さとやまこうぼ）』についてはこちらからどうぞ⇒



佐々木 哲哉さん
(絵：地域支援室伊藤)

もうすぐ50歳という佐々木さん。誠実さが感じられるお話がとても印象的でした！

イージュはなまきWEBでは、インタビューの全文が読みいただけます。

こちらからどうぞ⇒



東和の生き物12か月

3月 キジ「東和の鳥」

東和の町も3月を迎え、冬の寒さも緩み雪解けも大分進みました。空を見上げると、ハクチョウやガンなどの渡り鳥が、隊列を組み北への旅路を急いでいる姿を良く目にします。月末ごろからは、サシバ等の夏鳥達が南から訪れ、子育ての時期を過ごします。

今回は同じくこれから繁殖期を迎える「東和町の鳥」キジの紹介をさせて頂きたいと思います。

キジは、雄が体長約80cmで美しい緑色の羽毛に覆われた体と長い尾、顔には鮮やかな朱色の肉垂があるととても特徴的な姿です。春の季語で、数々の俳句や桃太郎をはじめとした昔話などに出るなど古くから日本人に親しまれており、実際に目にしたことのない人でも思い浮かべやすい姿をしています。一方雌は体長約60cmと雄より小柄で尾も短く目立たない茶褐色をしています。

飛ぶことは苦手ですが、走るのは得意で、時速30キロを出した話もあります。足の部分に蹴爪という固い突起が出ており攻撃をする際はその部分を使います。非常に固く鋭いため、下手に攻撃を受けると大げがのもととなります。

キジは、主に植物の実や種子、昆虫類などを食べ生活しており、4月から7月にかけて繁殖を行います。雄は縄張りを守り、縄張り主張のため「ケンケン」とけたたましく鳴きます。雌は、草むらの中に穴を掘り、草を敷いた巣に卵を産み、その後の子育てもメインに行います。夏場近く草むら付近で雄の鳴き声や子を連れた雌の姿をしばしば見かける方もいるのではないのでしょうか。

キジは、「日本の固有種」「親子連れ添った姿が家族愛を示す」「肉が旨い（貴重なたんぱく源）」との理由から、昭和22年に日本の国鳥に指定されました。

その後、昭和30年に誕生した東和町においても昭和31年にキジが町の鳥となり、長い間親しまれております。今日でもキジは狩猟対象となっており、その肉は鶏肉より高たんぱくで低カロリー、良い出汁が取れると言われております。

昔から全国で親しまれ、東和町でもとても身近で良く見かける野鳥なので、是非今年も特徴ある姿や振る舞いを楽しんでみてください。



絵：地域支援室伊藤

これまで支援室職員が力を合わせて作成してきた本連載ですが、誌面再編に伴い今月で終了となります。

ご愛読ありがとうございました。